

緊急事態宣言が19都道府県で出されている中、第2回全国薬剤師フォーラムが令和3年9月26日(日)に完全ウェブで藤谷企画実行委員会委員の司会で開催された。当日は47都道府県薬剤師連盟の幹事長がZOOMで集結し「紹介者から支援者へ輪を広げる10から70へ」をテーマに活発なフォーラムとなった。

まず始めに山本日本薬剤師連盟会長から「2年前に本田顕子参議院議員が当選し悲願であった藤井基之参議院議員との薬剤師参議院議員二人体制が整った。二人体制になって状況がどれだけ変わったか、中央において実感している。薬剤師の将来のため、日本の医薬品安全を守るために今後もこの二人体制を維持していかねばならない。自分たちの代表を国会へ送り込み、我々の仕事をしっかりと政策に反映させ、その結果薬剤師の活躍の場が広がって行く。今日はどうしたら自分たちの意見を国政に反映させることができるかをしっかりと議論していただきたい。」という力強い挨拶があり、続いて藤井基之参議院議員から「国民のために薬剤師が活躍できる社会を実現するための薬剤師参議院議員は重要である。」と、本田顕子参議院議員から「2年前に国会に送り込んでいただいて藤井先生と共に薬剤師の活躍の場を広げるために日々頑張っている。藤井先生から神谷副会長に繋いでいただければいい。しっかりと議論して頂きたい。」と、挨拶された。

続いて、神谷まさゆき副会長から「藤井先生の後をしっかりと継承し、本田先生と共に薬剤師のためにしっかりと仕事ができるように頑張る。」との挨拶があった。

次に、鳥海副会長から後援会広報資料紹介と神谷まさゆきP.V紹介が行われ、大澤副会長からは紹介者・支援者名簿進捗状況について報告された。

続いて、橋本常任総務の司会のもと、パネルディスカッションが行われ、まず「いかに紹介者名簿を集めたか」をテーマに紹介者名簿収集達成率の高い県からプレゼンテーションが行われた。選ばれたのは秋田県、山梨県、徳島県、佐賀県、福岡県、愛知県の六県でそれぞれ幹事長から発表があった。

1 秋田県(安田幹事長)

秋田県の支援者名簿収集メソッド「コロナ禍において、紹介者のみで得票目標を達成するた

め」を作成した。我々の新商品「神谷まさゆき」をどうヒットセールスに結びつけるか!についてイノベーター理論を用い、その構成層を①ビジョン②目新しさ③インパクト④流行・合理性⑤安心感・安定感⑥権威・実績と考えた。次に県薬の会員数に応じた構成獲得数の見込みについて、会員数1,600人、施設数500薬局、連盟会員数1,280人、班長・支部長・支部役員256人、県薬役員40人と考えた。これをもとに、紹介者目標は連盟会員数×5人=6,400人。「神谷でGO!」とした。

2 山梨県(堀内幹事長)

山梨県は従来の班体制を見直し、6〜7薬局を1グループとしてフィードバックを円滑にできるようにした。1薬局にそれぞれグループ長、副グループ長、総務担当等1役を担ってもらって、その新班を活用して「紹介者名簿の充実こそが選挙の肝になる」をスローガンに名簿提出薬局90%以上、紹介者1,500人を目標にしている。前回選挙の振り返りにおいて一生懸命活動した人ほど落胆した。裏切られた悲壮感が強かった。ので、ただ単に支援者名簿数を増やすのではなく顔の見える方をフォローして引き続き頑張っていく。

3 徳島県(久次米幹事長)

当連盟はまず紹介者名簿の収集目標と実施計画を設定した。
【目標】全会員薬局からの紹介者名簿提出を達成する。
【実施計画】①R3年1月中旬に全会員施設に紹介者名簿を配布する。②R3年2月15日中間締切日を設定し、支部別名簿収集リストを作成する。リストを基に支部長に報告。支部長から未提出の会員施設へ連絡する。③R3年2月末日に第1回締切日設定。再度、支部長から未提出の会員施設へ連絡して提出をお願いする。若しくは支部長が回収に行く。

【実際の活動】①支部長会を開催し名簿の説明と配布を行った。②名簿収集リストを作成して各支部長と状況を共有した。③会長・幹事長が支部長を訪問。名簿収集リストを基に状況を共有し、未提出者への協力依頼を再度お願いした。今後の活動予定は①支部長先導のもと会長・幹事長主導の薬局訪問②御さん訪問(会長・幹事長・役員)③R4年3月28日の薬学研究会に神谷副会長に



令和3年度 **第2回全国薬剤師フォーラム**

「つなごう!! 薬剤師議員」が開催される!



来県してもらう。④青年部、女性部との連携強化等を行い頑張る。

4 佐賀県(本田幹事長)

佐賀県のA会員薬局数536、紹介者目標数1,000人支援者目標数7,000人に設定。今回から佐賀県薬剤師連盟組織強化委員会を設置して毎月開催している。構成員は連盟会長、連盟幹事長、組織強化担当役員、8支部各1名委員。1/28紹介者名簿を各薬局に郵送かつ翌日朝FAXにて送信。2/15紹介者名簿を班長へ提出回収。3/1紹介者名簿未提出薬局を班長は支部長へ報告。支部長より未提出薬局に提出を依頼。紹介者名簿回収報告書(班長用・支部長用)を作成して経過報告として利用。3/15未提出薬局からの紹介者名簿の回収。未提出薬局は佐賀県薬剤師連盟から提出再依頼。3/31紹介者名簿収集締め切り。しっかりと組織を作り全会員の協力のもとで神谷まさゆき氏の支援を頑張っている。

5 福岡県(宮崎幹事長)

福岡県薬剤師連盟は23の地区があるので、各地区の会長に紹介者名簿の収集の詳細説明と依頼を実施。その後地区連絡協議会で各地区の名簿収集状況を示し、各地区の情報を共有し、相互に達成率を意識していただいた。WEBアンケートの実施による意識づけとメールアドレスの収集。当会で企画した研修会をコンテンツとして提供し23地区すべてで実施。女性の会主催のセミナーを開催し政治とは関係なくまず人を集めた。コロナ禍を理由に連盟活動を減少させないため、研修会の企画提案により機会を創出。「薬剤師の

現状と未来(30分)地区薬剤師連盟会長・幹事長(10分)福岡県薬剤師連盟会長・幹事長(10分)地区薬剤師連盟組織強化・女性担当(10分)地区支部の担当者(長)を巻き込む。提案型(方法やコンテンツ)の対応も有効。

6 愛知県(稲本幹事長)

愛知県は会員薬局が2,931薬局で、紹介者名簿提出薬局目標各支部70%以上、全体で2,100薬局以上、紹介者目標は10,000人以上に設定して活動をしている。活動方法としては各担当総務(愛知県は15選挙区)及び各支部長(45支部)が協力をして、地区の月例会で「薬剤師議員の必要性」を伝え、ステップ表に従って活動している。また、未提出薬局は名簿を作成し、愛知県薬剤師連盟役員、担当総務、支部長で訪問し提出依頼をしている。結局は役員が足しげく通って依頼をする「ごぶ板」しかない。

それぞれ6県細かい点で手法は違うが、各県に合わせたしっかりとしたシステムを構築し、更に「ごぶ板」で各薬局を訪問してフォローをしている。この繰り返しをこまめに行っている県が先行している印象を受けた。

その後「10から70へ」のテーマでディスカッションと質疑応答が行われ、活発な討議が行われた。次に若本幹事長から「活発な意見交換が行われたと思う。薬剤師参議院議員二人体制を堅持するため薬剤師連盟として正念場である。オール薬剤師で一丸となって頑張っていたきたい。」との総評が行われた。

最後に神谷まさゆき副会長の謝辞があり丹羽常任総務の熱のこもった「コール」で終了した。



令和3年度

臨時評議員会が開催される！

令和3年9月29日(水)午後1時より臨時評議員会がスクワール麹町において開催された。今回の評議員会は前回同様、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言のため、書面評決による開催となったがYouTubeによるライブ配信も行われた。定刻に中原常任総務の司会のもと山本会長の挨拶で始まり、続いてご来賓の松本純衆議院議員より激励の言葉をいただいた。また、藤井基之参議院議員、とかしきなおみ衆議院議員、本田あきこ参議院議員は自民党総裁選挙投票日と重なったため、残念ながら欠席となった。また、公務で参加できなかった逢坂誠二衆議院議員と共に祝電をいただいで

おり、司会者よりそれぞれ披露された。次に、明石副議長が登壇し、議事を進めた。まずは会議の成立が宣言され、続いて議事録署名人が指名された後、重要事項の経過報告として薬剤師会を巡る最近の課題について、石井副会長から説明がなされた。そして報告並びに議案説明では、報告第1号令和2年度会務並びに事業報告を石井副会長より、議案第1号令和2年度収入支出決算報告の件を、荻野副会長より説明の後、会務並びに会計監査報告が村松監事より報告された。その後、採決となり賛成多数で原案通り可決承認された。

休憩の後、協議となり第1号神谷まさゆき副会長より日頃の支援活動に対するお礼の言葉と共に、改めての強い決意表明がなされ会場からは大きな拍手が送られた。次に支援活動について、組織体制・中央後援会活動タイムテーブル・支部訪問について荻野副会長より、名簿収集・全国薬剤師フォーラムの報告を大澤副会長より、広報資料・メールマガジン登録とPOWERアンケートについて鳥海副会長より説明があった。また、支援団体・神谷まさゆき後援会事務所移転について石井副会長より説明があった。質疑応答の後、鳥海副会長からの閉会の挨拶でその幕を閉じた。



もとゆき Report 藤井もとゆき国会レポート

参議院議員・薬剤師・薬学博士
参議院自由民主党政策審議会長 藤井基之

衆議院総選挙を終えて

第100代の内閣総理大臣に就任した岸田文雄氏は、就任から僅か10日後に衆議院を解散し、総選挙に臨みました。

自民党は岸田新総裁の下で、①感染症から命と暮らしを守る。②「新しい資本主義」で分厚い中間層を再構築する。「全世代の安心感」が日本の活力に。③国の礎「農林水産業」を守り、成長産業に。④日本列島の隅々まで、活発な経済活動が行き渡る国へ。⑤経済安全保障を強化する。⑥「毅然とした日本外交の展開」と「国防力」強化で日本を守る。⑦「教育」は国家の基本。人材力の強化、安全で安心な国、健康で豊かな地域社会を目指す。⑧日本国憲法の改正を目指す。以上の8項目を大きな政権公約に掲げて選挙を戦い、10月31日の投開票を迎えました。

総選挙の前哨戦となった参議院議員補欠選挙で静岡選挙区の自民党の1議席を失う、厳しい出足となりましたが、自民党は改選前より議席数は減らしたものの単独で絶対安定多数の261議席を確保することができました。皆様のご支援により、自民・公明の連立与党は引き続き安定した政権運営を担えることとなりました。改めて御礼申し上げます。

他方、薬剤師の松本純氏、渡嘉敷奈緒美氏は、惜しくも議席を確保することができず、衆議院与党の薬剤師議員はいなくなることとなりました。参議院の薬剤師議員の議席は、何としても維持しなければなりません。薬剤師の皆さんが一丸となって戦いに臨めば、如何なる風が吹こうとも、必ずや光明をもたらすものと確信しています。私も皆さんとともに頑張っ参ります。

オレンジ日記

参議院議員・薬剤師 本田頭子

選挙を終えて

第49回衆議院議員選挙が行われました。

全国比例区の私は、党本部の依頼で多くの選挙区の応援に入らせていただきました。応援に当たって都道府県薬剤師連盟のお力添えも頂いたおかげで私自身の活動範囲も広げることができました。このことにまず御礼を申し上げます。

今回の衆議院選挙を通して皆様にお会いし、表情を見て、話し、気持ちを通わせることで政策実現への熱意が更に増しました。

自民党は、新型コロナウイルス感染症から国民の皆様の命と暮らしを守り抜くことを重点公約としており、そこに「かかりつけ薬剤師・薬局の普及」という言葉が盛り込まれました。政権を担う自民党の政権公約にこうした記載がなされたことは恐らく初めてのことでないかと思いました。

医療崩壊を起こさないために、薬剤師が自らの専門性を発揮し医療継続に繋がっていくことを政府与党が正面から受け止めてくれたと感じました。

北海道石狩市や、宮城県と山形県の県境の選挙区にも応援に入りました。個人演説会場で、「薬剤師の先生が熊本からこんな遠くまで来てくれた。」と声をかけられた時は薬剤師という存在が地域の皆様に受け入れられている証と思い、とてもありがたく、嬉しかったです。

また、国民の皆様の不安を解消するために、何よりも国産ワクチンと経口治療薬の1日も早い実現が求められていることも体いっぱい受け止めました。

年末に向けて、来年度の予算編成に向けた診療報酬・調剤報酬の話し合いがありますので、今まで以上に高い緊張感を持って議論に参加いたします。

「信頼」と「共感」を原動力に責任政党の一員として着実な政策実現を目指し、これからも頑張っ参ります。

変わらぬご指導をよろしくお願い申し上げます。

ヒューマン「神谷まさゆき」をたずねて

神谷まさゆき副会長の人となりを読者の皆さんに知っていただくため、神谷まさゆき副会長とお付き合いのある方々より、神谷副会長に対する率直な印象などを語っていただくことにした。是非ご一読いただきたい。

①神谷副会長の第一印象は真面目で堅い印象を受ける方が多いと思いますが、実際に身近でお付き合いされて、彼はどんな青年でしょうか？

②当時のエピソードがあれば教えてください。

③組織内候補になったと知った時、どう思われましたか？

④これからの神谷副会長に期待すること

⑤全国の薬剤師に向けてのメッセージをお願いします。

◆川邊祐子さん



愛知県女性薬剤師連盟会長、愛知県薬剤師連盟副会長(愛知県女性薬剤師会会長、愛知県薬剤師会副会長)

①礼儀正しい、紳士的、真面目、信念をもっている、いつも全力投球、いつも満面の笑顔なので話しかけやすい、何を言っても一生懸命聞いてくれる。

毎年家族写真入りの年賀状をいただくのですが、子煩悩でお子さんの話をすると満面の笑みです。努力家で当時からスピーチの勉強もしていました。

②理事会での協議の場で、積極的に自分の考えを発言していた。厳しいダメ出しをされてもめげずに何度も修正を重ねて提案していく熱意に頭が下がりました。よく通る大きな声で堂々と話されるのでマイクが必要なく神谷氏のときはマイクのボリュームを絞りました(笑)。

他地域の地域職域薬剤師会で講演をされた時、会場の空



気が変わるほどスピーチとパフォーマンスが素晴らしかった。

③はじめはびっくりでもすぐにやっばりね、納得でした。退路を断って臨まれることを聞いていたので信念を貫く機会がえられてよかったです。

④カッコつけずにかむしゃらに若さを武器に「④がやけ④の④くぎょうかい」のために活動してほしいです。

⑤神谷まさゆきさんは経験も人脈もない新人ですが、人一倍薬剤師に対して熱い気持ちをもっています。政治家神谷まさゆきは皆さんが育ててくれると信じています。まずは活躍の機会を与えてあげてください。頑張ってくださいと思います。全国の薬剤師が一丸となって我々の代弁者としての神谷まさゆきさんの政治活動を支援しましょう。

◆鈴木秀明さん



愛知県薬剤師会危機管理部会部長

神谷先生が愛知県薬剤師会危機管理部会に就任された時、非常に期待がもたれていました。神谷先生がご自身でやりたいことをなさって欲しいと思います。色々大変だと思いますが、体調崩さぬよう気を付けていただきたいと思います。

④神谷先生は私が期待するはるか上の活躍をされるので、神谷先生がご自身でやりたいことをなさって欲しいと思います。色々大変だと思いますが、体調崩さぬよう気を付けていただきたいと思います。

⑤薬剤師を取り巻く状況が非常に厳しい今、神谷先生が組織内候補になられたのは私たちにとって喜ばしいことだと思います。神谷先生は必ずや、私

ちの思いを考
えを実現して
くれると信じ
て皆で力を合
わせましょう。



◆氏原賢志さん



豊橋市薬剤師会
会員

地元の先輩

①政幸(以下まさゆき)君はもちろん

真面目なのですが、時折見せる体育会系のノリやお茶目な部分があります。これまでも豊橋市薬剤師会や愛知県薬剤師会の理事として大変な役を自ら買って出て、周りを上手く巻き込みながら事業をいくつもやり遂げて来ました。

普段から相手の事をよく見てとても気を遣っているのを感じますが、正義感が強く自分が引けない所はどこか話し合いをしていました。

メーカーを退職して父親から引き継いだ薬局を4店舗経営して、経営者としても頑張っていました。

ちなみに私はまさゆき君よりも年上なのですが、お酒の席では普通の友達のように接してくれるので、お互い気兼ねなく意見を交わしていました。

意見が違ってもちゃんと話し合いができ、殴り合いの喧嘩にはなりませんでした(笑)

②また新型コロナウイルスが流行る前の話になりますが、薬剤師仲間でもカラオケをする時には、持ち前の良い声を聴かせるバラード曲ではなく、敢えて少し三枚目な盛り上がる曲を選曲し、その場の皆が歌い易くなる等場を盛り上げる役を自ら買って出ました。おかげで？歌の苦手な私も気楽に歌う事が出来ていました。

あと事業の打ち上げなどで食事を済ませた後に、もう一軒行こうと何故か餃子とビールを注文する変な流れが

何度かありました。

後輩薬剤師も呆れながら巻き込んで楽しく過ごしたお茶目な男です。

時には失敗して落ち込む事もあり、時々弱音は吐いていましたが、翌日には経営者らしく最善を選んだ前に入んでいく姿を見ていたので、仕事を任せて安心できる男です。

③まさゆき君は以前から政治に興味を持ち連盟の活動に熱心でしたが、まさか組織内候補になるとは...でした。正直「ネー」と絶句しました。

以前、私達が別々に所属する豊橋青年会議所と商工会議所でそれぞれ地域を盛り上げていくと話していたので、愛知県を飛び出して、国政に行くのか。その大変な役をまさゆき君がやるのか。

彼が全国を飛び回る間、地元豊橋市から盛り上げないといけないなど、少し重く感じました。

④持ち前の正義感と冷静な判断で医療業界にとって現場の声を聞いて届ける事が出来るのではないかと思います。その為にも出来るだけ多くの人の声を聞いて、医療業界にとって最善の対応をしていただきたい。

⑤全国の薬剤師の皆さんとはなかなかリアルに会う機会を持てず、まさゆき君の良さを知っていたたくには少々厳しい状況ではありますが、まさゆき君は製薬メーカーと薬局、更に薬剤師会の理事として活躍した経験は、これまでの候補には無かった現場の視点と患者さんの声を持って動ける男だと思います。

まさゆき君に現場で働く薬剤師の切実な声を伝えて、その声が国に届く様に彼を応援して欲しいです。

まだ未熟な所はありますが、皆様が神谷まさゆきを応援して育ててください。

よろしくお願



編集後記

あっと云う間の1年7ヶ月

早いもので今年も残すところあと1ヶ月余りとなりました。昨年からコロナ禍が続く不安で落ち着かない1年だった気がします。不要不急の外出を控え、好きな旅行も飲み会もできませんでした。年に数回、家族で楽しく国内旅行や海外旅行をしたことやおいしいものを食べに行きたことを思い出します。新型コロナウイルスのワクチンと治療薬が揃い、早く以前の生活に戻りたいものです。さて、9月に自由民主党の総裁選があり、10月には衆議院議員の選挙もありました。引退した議員、新しい議員。衆議院議員や内閣の顔ぶれが変わるとまた新たに薬剤師連盟の仕事が始まります。私が日本薬剤師連盟に就任して1年と7ヶ月。薬剤師連盟の目的に向かって私に与えられた任務を我武者羅に遂行してきました。今思うとあっと云う間に過ぎ去った気がします。引き続き目的を達成するためにみなさんと一緒に頑張りたいです。

薬剤師連盟の目的は、会員相互の全国的協力により日本薬剤師会を目的を達成すること、その他薬事・薬業の進行に必要な政治活動を行うこと、役割は、薬剤師が職能を十分に発揮することができるよう、国会や政府などに薬剤師の主張を伝え、必要な政策の実現を求めていくことです。その為には一人でも多くの薬剤師を国会に送り込むことも大切な仕事です。

日本は議会制民主主義です。各地域・各職域の代表が議員となり国会で色々審議して法律ができます。我々薬剤師に法律が対しての意見は我々薬剤師の代表が言わなければなりません。2年前に悲願の薬剤師参議院議員一人体制になり、せっかくな変わってきた風向きをまた向かい風に変えないためにはみなさんの積極的な協力が必要です。私達も機関紙「POWER」や「薬連ハイライト」を定期的に発行することで色々なことをみなさまに報告していきます。

「ローマは一日にして成らず」薬剤師一丸となって焦らずのんびりせず計画通りしっかりと連盟活動を展開していきましょう。

●広報委員

- 鳥海 良寛、石井 甲一
- 大澤 泰輔、丹羽 松弘
- 橋本 昌子、加茂 雅行
- 和泉啓司郎、渡邊美知子

(M・N)